

希望の未来を拓く青年たちへ

～あなたただからできることが、かならずある～

2021年1月18日(月) 9:20～(1時限目)

福山大学 1号館 01204 教室



講師：妹尾 昌子氏

(株) ライフステージ (広島県福山市)
取締役/保育士

ワークライフ支援室(男女共同参画推進室)は、ワークライフバランスを大切に考え、男女ともに働きやすい職場づくりや、女性研究者の比率の増加につながる環境づくりを目指しています。

今回のセミナーでは、女性も働き続けやすく、活躍できる会社づくりに取り組まれてこられた方を講師としてお招きします。職場は人づくりの場でもあります。次世代を担う学生の教育に携わる我々教職員に、貴重なメッセージが発信される講演会です。ぜひ、ご参加ください。

この講演会の開催に際して、講師の方から、学生の皆さんに、暖かなエールが届いています。

人それぞれ**使命**をもってこの世に生を受け、みんなみんな**大事な存在**で価値があると思っています。男として生まれてきたとしても、女として生まれてきたとしても、**それぞれの役割**があり同じではないけれど、お互いに欠けを補い合い、助けあって生きていく・・・ **利己**ではなく**利他**で生きていく・・・

そこに、個性のブレイクがあり世界の平和につながっていくと思うのです。**世界の平和も足元から**ですね。理想すぎるかもしれませんが、その**大理想**にむかってなろうがなるまいが、日々ここで小さな**取り組み**をし続ける。

そんな人生を、未来を担う青年には歩んで欲しいと思っています。



福山大学

希望の未来を拓く青年たちへ ～あなたたちだからできることが、必ずある～

（株）ライフステージ 取締役/保育士 妹尾昌子 氏

ワークライフ支援室（男女共同参画推進室）は、ワークライフバランスを重要と考え、男女ともに働きやすく活躍できる職場や環境を目指し、様々な情報を発信しています。その活動の一環として、令和2年度ワークライフ支援室セミナーを建築学科のユニバーサルデザイン論の公開授業との共催で1月18日（月）に開催しました。今回のセミナーには、講師として（株）ライフステージ 取締役/保育士 妹尾昌子氏をお招きし、「希望の未来を拓く青年たちへ～あなたたちだからできることが、必ずある～」の演題でご講演いただきました。

画像1 妹尾昌子氏セミナー

次世代を担う学生の教育に携わる我々教職員に対して、参考になる貴重なメッセージが発信された講演会でした。コロナ禍のため、急遽、学生の参加が中止になり残念でした。*

職場は人づくりの場でもあります。妹尾氏が取締役に務める（株）ライフステージは創業25年のまだ若い会社で、社長である夫と二人で興した住宅建設会社だそうです。住宅建設の領域は、男性を中心とした職場のイメージを持ちますが、この会社では取締役に妹尾氏を筆頭に多くの女性がポジションを得て活躍しています。週に1回開催している子育て支援ナチュラルママサークルのための空間が社屋の一角にあり、顧客も従業員もライフとワークのバランスをとる人生や家づくりの大切さを感じることができます。日本の古くからの経営哲学である「三方よし」が、引き継がれている会社です。

妹尾氏は、建築業界とは全く無縁の保育士からの転職になりますが、保育士で培ったキャリアを活かし、自分の武器として会社の中に自分の居場所を築かれました。「技術もない」、「知識もない」、「ない」ことだらけを実感する中で、自分は何ができるのか、何の役に立つことができるのか、自分の可能性を考え抜いた時、見つけた答えが、周囲の「潤滑油になる」ことでした。いつも最高の笑顔で、周囲を懐深くに受け止めることでした。物心がついた小学校の低学年の頃、先生からの言葉が妹尾氏をその後長く霧で覆ってしまいました。その覆った霧を払うのに、何年もの歳月が必要だったそうです。しかし、その霧の中を抜けて来たことによって、保育士になることや潤滑油になるという答えを導き出すことができたのかもしれませんが、人はそれぞれ使命をもってこの世に生を受け、みんな大事な存在で価値があるということを深く感じることも、霧の中で培われた感性かもしれません。みんなそれぞれに輝く個性があるとのメッセージには、大人しすぎるほどの子供であってもその内面は、はちきれないばかりの豊かな個性で溢れていたとの思いが込められていると感じました。

失敗や挫折は、走って逃げると後を追いかけてくる犬のようなものと例えられます。逃げないで向き合うと、犬が懐いてくるように、まさに自分の個性を磨くことに繋がります。怖がらず、恐れを超えていくことで自分の夢を大きく開かせることができます。失敗や挫折を超えてこそ得られる成功体験は、自分の個性を磨き、自らを大きな器に変えるために必要なものといえます。それでは、器は何のために大きくする必要があるのでしょうか？ それは人のために貢献できることが増えるから、多くの人の役に立つことができるから、そこに夢の実現を見ることができると感じました。

どんな人に憧れますか？どんな人を尊敬しますか？ しかし、憧れや尊敬だけで終わらせてはいけません。あなたが感じた憧れや尊敬と同じ種が、あなた自身の中にもあります。芽吹く時を待っています。自信がないと思うことは、自分に足りないことを知るチャンスです。自分の夢が遥か彼方にあっただとしても、その実現を信じて、頑張れることを一つでもいいので探しましょう、自分の一番良いところを磨きましょう、できることを増やしましょう。それが個性を磨くことに繋がるはずです。

この度の講演会では、(株)ライフステージでのインターンシップのワークとして実際に行われている内容を行っていただきました。

「可能性について考えてことがありますか？」「自分には可能性があると思えますか？」、そして、「**関わる人の可能性を信じていますか？**」は、次世代を担う学生の教育に携わる我々教職員にとって、心に刺さる言葉でした。貴重なメッセージが発信された講演会でした。

ワークライフ支援室 室長 杉原成美

※ 学内限定で動画を配信し、聴講の機会を提供しました。